

## 「母へ」

第2回 KYOTO KAKIMOTO 恋文大賞<sup>®</sup>

手紙(文章)部門 &lt;中学生の部&gt;

今、あなたはどこで何をしていますか？

私は中学三年生になりました。

二歳だった私も今年で十五になります、

あれから十三年、どうしていますか？体の調子はいかがですか？

私は父と祖父と幸せに暮らしています。

小学六年のある日、父が書類の整理をしていた時にあなたの写真を見つけました、

父に「この人誰？」と聞くと友人と言われました

でも、すぐに嘘だと思いました、この人はきつと私の母なのだと思いました。

「友人」と言った時の父の顔が今でも忘れられません。

初めて写真で見る私の実の母。とてもうれしかったです、

父はその後写真を元の場所に戻してしまいました、けど私はごっそりその写真を取り、

あなたの顔を見つめてやっと自分の母を見られたと思いい涙が出ました。

みんなにお母さんがいるのがとても羨ましく思っていました、

写真ではあるけれど、あなたの顔が見られて本当にうれしかったです。

あなたは、私の事を愛していますか？

私はあなたの事を愛しています。

今はもうあなたの記憶はほとんどありません、

声もぬくもりも幼い日とともに忘れてしまいました。

けれど、私はあなたの事を心から愛しています。

もしもまた会えたのなら、私に「お母さん」と呼ばせてください。

そしておもいきり抱きしめてください。

私はそれだけで充分です。

母の日に渡せずにはいたカーネーション、

渡せなかった本数分を花束にしてあなたに渡したいのです。

今でもその写真を自分の財布に入れて持ち歩いています、

あなたと一緒にいるようで落ち着くのです。

いつの日かあなたに会えると信じています、

その時は私の名を呼んでください、

私を産んでくれてアリガトウ